

所属	社会福祉学部	職名	教授	氏名	田村 真広	大学院の授業担当の有無	(有・無)
授業科目							
社会福祉学部	教養基礎演習B、教育原理、教育方法研究、福祉教育論、福祉科指導法、教育実習、教職実践演習、専門演習、卒業論文、福祉計画の世界、福祉計画インターンシップ						
通信教育科	ボランティア・市民活動論						
社会福祉学研究科	地域福祉研究						
教育活動							
教育実践上の主な業績		年月日	概要				
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む) リアクションペーパーの活用		2001～2018年度	大人数の講義科目では毎回リアクションペーパーに記入させ、次回冒頭に質問等に答えることで、内容理解を助けた。				
ハンセン病療養所「全生園」をフィールドにした伝承教材パネルシアターの作成と実演		2015～2018年度	教職課程2年生が「教育方法研究」において、ハンセン病資料館を活用して伝承教材パネルシアターを作成・実演し学芸員から講評を受けた。受講生が人権フォーラム(2018.2.3)に登壇し成果を発表した。				
フィリピン(ダバオ)スタディツアー		2019年3月7-14日	フィリピン(ダバオ市及び近郊)に学生を引率し、児童養護施設や介護施設、ろう学校や盲学校、日本人会等を訪問・交流した。				
2 作成した教科書、教材、参考書 『教育実習レポート集2018』刊行		2019年3月	教職課程の履修学生、教員に配布し、事前事後指導に活用した。実習校の教員、協力校の教員に配布して、講評をいただいた。				
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 高校及び特別支援学校での教育実習報告会を開催		2019年2月6日	教職課程の非常勤講師、実習校の担当教員、教職に就いている卒業生の参加を得て指導講評をいただいた。				
4 その他教育活動上特記すべき事項							
研究活動							
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当頁数		
<著書・編著書>							
希望をつむぐ教育;人間の育ちとくらしを問い直す	共著	2018年8月	生活ジャーナル	行田稔彦・渡辺恵津子・田村真広・加藤聡一編著	pp.270-276		
<研究論文・研究ノート>							
「要町あさやけ子ども食堂」と「夜の児童館」のケース・スタディ;食のある居場所が有する内なるちから	単著	2018年11月	研究紀要、Vol.31、日本福祉教育・ボランティア学習学会		pp.30-43		
<調査・研究報告書>							
<翻訳>							
<その他の執筆活動>							
なかまとつながり、未来をひらく;人間の育ちとくらしを問い直す	単著	2018年8月	生活教育、No.837、生活ジャーナル	文責	pp.74-78		
子ども会活動が地域の学校を支える	単著	2018年11月	生活教育、No.840、生活ジャーナル		pp.74-75		
生活教育の理論と実践の創造;子どもにおいて目標をみる	単著	2019年1月	生活教育、No.842、生活ジャーナル		pp.72-74		
足立節雄先生を悼む;足立節雄先生の略年表	単著	2019年2月	生活教育、No.843、生活ジャーナル		p.61		
分野別学問ガイド「何を学ぶ?」;福祉学分野	単著	2019年3月	蛭雪時代臨時増刊、旺文社		pp.424-426		
学会等および社会における主な活動							
<学会報告>							
<講演活動>							
<所属学会>							
2018年度	日本教育学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会(研究倫理担当理事、副会長、研究紀要査読委員)、日本社会科教育学会、日本教師教育学会、日本カリキュラム学会、日本教育方法学会、日本教育史研究会、日本社会福祉学会。						
<社会的活動>							

2013～2018年度	非常勤講師「福祉科教育法」、上智大学総合人間科学部
2010年8月～2019年3月	日本生活教育連盟常務常任委員会副委員長・研究部長
2017-2018年度	夏のボランティア体験学習感想文優秀作品推薦委員会委員長(府中市社会福祉協議会)
2018年6月～2020年3月	きよせボランティア・市民活動センター運営委員会委員長
2018年9月～2020年3月	所沢市社会福祉協議会ふくし学習推進プロジェクト会議委員長
学内役職2017-2018年度	教職課程主任、入試委員長、教養教育委員会、保育士課程委員会